

県総合教育会議に多様な意見を反映させる

「社会貢献の意識向上を」

県人づくり委員 才徳兼備の人材育成議論

ため、川勝平太知事が設置した諮問機関「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」(委員長・矢野弘典)のくにつくり支援センター理事(長)はこのほど、本年度4回目の会合を県庁で開き、才徳兼備の人材育成をテーマに意見を交わした。

大学教授や農家、美術関係者らの委員からは「小さいうちから自分は何者なのかを考えさせ、世界を知り、歴史を振り返り、未来を見据えた教育の推進が大事」「農業の衰退は社会の弱点でも

ある。子どもたちにとっての問題を考えさせることで、社会貢献の意識を高め、徳を身に付ける」などの意見が出た。

前回会合で、副委員長の前池上重弘静岡文化芸術大副学長から提案のあった「小学校の読書時間の充実」については、委員から音読や朗読などさまざまな形

態を取り入れるべきだとの提案があった。こうした意見を11月末に予定する県総合教育会議に報告し、同会議で協議して教育政策に生かす。